

専用車で行くシントラ・ロカ岬

日帰りの旅・日本語ガイド・昼食付き

ホテル (9:00 出発) ~ペナ宮殿(10:40-12:00)~シントラ宮殿(12:15-13:15)~昼食(Restaurant Regional 13:20-14:20)~ロカ岬(14:50-15:15)~ギンショの浜(車窓)~カスカイス (地獄の口 15:45-16:00) ~エストリル(車窓)~ホテル (17:00 着予定)



◆ ペーナ宮殿

大西洋から18キロ、シントラ山脈のふもとにあるシントラは古くから王侯貴族の避暑地とされ、特に15～19世紀には多くの離宮が建てられ、現在ではそれらの史跡を含むシントラの文化財は世界遺産として登録されている。シントラを中心地である歴史地区から4.5キロほど上った山中の小高い丘の上に立つのが、周囲をこんもりとしたペナ公園の森に囲まれた「ペナ宮殿」である。



◆シントラ宮殿

シントラ国立宮殿 (Palácio Nacional de Sintra) は、ポルトガル・シントラにある宮殿。少なくとも15世紀初頭から19世紀後半にかけポルトガル王家が住み続けており、ポルトガル国内で最も保存状態の良い中世の王宮である。シントラの文化的景観の一部として、ユネスコの世界遺産に登録されている。



ロカ岬 (Cabo da Roca) は、ポルトガル共和国リスボン都市圏にあるユーラシア大陸最西端の岬である。位置、北緯38度47分、西経9度30分。西には大西洋が広がり、その遙か先にはポルトガル領のアゾレス諸島がある。またここには、ポルトガルの詩人ルイス・デ・カモンイスの叙事詩「ウズ・ルジアダス」第3詩20節の一節「ここに地終わり海始まる (Onde a terra acaba e o mar começa)」を刻んだ石碑が立っている。また、有料だがユーラシア大陸最西端到達証明書がある。5ユーロと10ユーロのタイプの証明書があるが、どちらにしても証明書には名前・日付等が入り、裏面には主要国の言葉で書かれた上記の詩(日本語もある)が書かれたものを入手することが出来る。

*実施日：2013年6月24日(月)

Altis Park 9:00 ~Sana Malhoa 9:20 ~Tivoli Lisboa 9:35~Dom Pedro Palace 9:45

料金に含まれるもの 専用観光バス、現地バスガイド、日本語ガイド、昼食、入館料
(ペナ宮殿、ペナ宮殿内シャトルバス往復、シントラ宮殿)

旅行取扱 旅日本株式会社 石井 伸二

東京都知事登録旅行業第3-6456号

東京都世田谷等々力7-15-5

電話 090-3230-7555